4-4 きょう土の伝統・文化と先人たち

σ ε

(I) 残したいもの・伝えたいもの

つかむ

つよしさんのクラスでは、千葉県にある

Fô-6

ねんちゅうぎょうじ ぶんかざい 年中行事・文化財を調べてみました。

千葉県にはいろいろな年中行事や 文化財があるんだね。



かとりじんぐうほんでんろうもん 香取神宮本殿楼門 (香取市) 1700年



法華経寺五重塔 (市川市) 1622年



ねんちゅうぎょうじ 年中行事

毎年決まった時期に行われ ** しき いか る儀式やお祝いなどの行事。

ぶんかざい 文化財

れきしてき ね 歴史的にみて,値打ちの高 げいじゅつ たてもの い芸術品,建物,音楽など。

資料提供 香取市·館山市 君津市·横芝光町 南房総市



神野寺表門 きみつ (君津市) 1504年



もなっさといも 茂名の里芋祭り (館山市)



南房総地方のミノコオドリ (館山市,南房総市)



白間津のオオマチ行事 (南房総市) 901年~

さわら たいさい 佐原の大祭

| 72|年~

佐原では夏と秋にお祭りが行われ、あわせて「佐原の大祭」と呼びます。大祭の時、おはやしの音楽に合わせて、歴史上の人物などの人形に、二重の台と車輪をつけた「山車」がまちの中を練り歩きます。この行事を「山車行事」と呼びます。

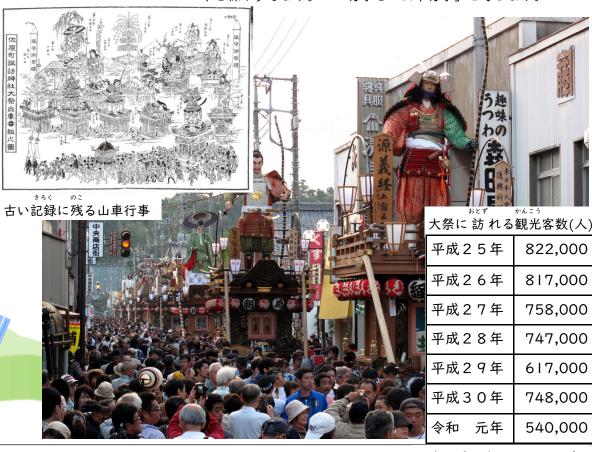


写真: 香取市ホームページ



大きな山車だね。観光客もたくさん 来ていて,もり上がっているね。

> 佐原の大祭は300年も続いて いるんだね。すごいね。



つよしさんたちは県内の年中行事から「佐原の大祭」 を選びくわしく調べることにしました。

佐原の大祭は、どのようにして300年も前から大切に 受け継がれてきたのでしょうか。

しらべよう・みてみよう

佐原地区の古い町なみのようす



地図帳で佐原地区のある香取市をさがしてみよう。



かとりしさわらちく

香取市佐原地区を歩くと, 今でも古い町なみが

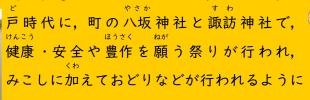
残っていることに気がつきます。つよしくんたち

は、町にある水郷佐原山車会館の方から佐原の大れまし

祭の歴史を聞きました。

水郷佐原山車会館の人の話

佐原の町は、昔から利根川の水運のおかげでおおいに栄えました。江



なりました。そこで使われた山車が、現在の山車行事のもと になりました。

祭りの時には、高さが4メートルにもなる山車をひいていきます。山車は佐原の町の各地区に1台あり、全部で24もあるのです。大きな山車が連なって佐原の町を練り歩くのはとても勇壮ですよ。



展示室の様子

佐原の大祭(山車行事)の歴史

|7|4年 佐原の大祭(夏祭り)のもとになる

> 八坂神社の祭りにおどりや獅子舞が 登場する。

諏訪神社の祭りが行われる。※

| 72|年 佐原の大祭 (秋祭り) のもとになる

1804年 現在のような山車をひく形の祭り

~29年 になる。

1948年 佐原ばやしの保存活動が始まる。

1955年 佐原ばやしが県無形民俗文化財に指

定される。

2004年 佐原の山車行事が国の重要無形民俗 文化財に選ばれる。

2016年 佐原の山車行事がユネスコの無形 文化遺産に選ばれる。

※ 八坂神社の祭りの後, 諏訪神社の祭りが行われ, その後あわせて大祭として続いたことからこの年が 「佐原の大祭」の始まりとされています。

山車の人形はも ともとは手作りの かんたんなもので したが, ある町が 大てんぐの人形を つくり山車にした ところ大ひょうば んになりました。 その後,他の町も さまざまな人形を 山車にしてひくよ うになりました。

大正時代の山車行事の様子





ユネスコ無形文化遺産 にんていしょう

登録認定証

国連教育科学文化機関 (ユネスコ)が,人から

人へと伝える祭りや げいのう でんとうこうげい 芸能、伝統工芸などを 認定、登録しています。 登録認定証の中央に Yama, Hoko, Yatai, float festivals in Japan (日本の山車行事) の文字が読めます。

佐原の大祭で行われる山車行事は、長い

歴史と保存の努力が認められて, ユネスコ いさん とうろく

の無形文化遺産に登録されました。

つよしさんたちは、保存の取り組みにつ いて、香取市役所の方に話を聞きました。

香取市役所の方の話

市では、地域の人たちが山車や用具の修理・保存をしたり、山車行事を 続けていったりできるよう、アドバイスや支援を行っています。また、山 車行事に関わる研究をして,記録したことを保存します。ホームページな どで情報を発信し、多くの人に知ってもらう努力をしています。



ちぃき ひとびと だ し ほぞん

つよしさんたちは,地域の人々が山車行事の保存につい

LÀ

てどのような活動を行っているのか調べてみました。

佐原ばやし保存会の方の話

しゅたい えんそう

佐原ばやしは日本三大ばやしの一つで、美しいメロディーを主体とした音楽です。演奏す たいこ がね こうせい わがっき る楽器は笛、太鼓、すり鉦で構成され、和楽器のオーケストラといえます。

佐原ばやしは、一時、若手の担いている。 すが減り、なくなるおそれがありましたが、町の宝物を失いたくないという願いのもと、1948年、佐原ばやしの保存活動がはじまりましまいけいみんぞくた。1955年には県無形民俗文化財にてんにも、今日では、佐原を中心にたんたいでく23団体・約500名が佐原ばやしの保存に努めています。



すいごう

水郷佐原山車会館の方の話

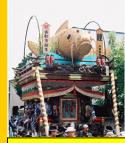
佐原の山車の上には、大きなかざりものが乗っています。神 まましたが ままにんぎょう たか こい さいく 話や歴史上の人物を題材にした大人形や、鷹や鯉のわら細工です。祭りが続けられる中で、地区ごとの大人形がつくられてきました。

大人形は、人形師という職人の手によってつくられました。 古いものは200年も前につくられ、修復を重ねて今日まで 大切に使われてきました。

鷹や鯉のわら細工は、地区の人々が大人から子どもまでみん



鷹のかざりもの



鯉のかざりもの

なで手作りしています。鷹は稲わら、鯉は

麦わらを用いて大きな

かざりものにします。昔から受け継がれてきたかざ りものは、地域の人々の自まんでもあります。

写真・資料:香取市より

おかめさんの大人形



山車を作る職人の方の話

わたし せん

私 の家は先祖の代から山車を作っています。多くの人の目にふれる山車を作ることはとても光栄です。ひく人がひきやすくて、長持ちする山車を作るため、材木の種類や性質を生かすことが大切なんですよ。私が作った山車が、これから何百年も地域の人に受け継がれるといいです。



でんしょう

佐原山車行事伝 承保存会の人の話

佐原の山車行事は,年長者から若者へと受け継がれて今日まで続いてき

ました。子どもたちは大人が山車をひく姿を見るのを楽しみにしていませっきょくてき さんか す。佐原ではみなさんと同じ小学生も祭りに積極的に参加しているのですよ。この祭りがこの先もずっと続くよう願っています。





・ 地域のさまざまな人々が山車行事の と 保存のために努力しているんだね。



小学生は、どんな活動をしているのかな。



きょう土芸能部 練習の様子

> 祭り当日 発表の様子





校長先生の話

佐原小学校には,

佐原ばやしを練習する



放課後には笛や太鼓などの音がよく聞こえてきます。佐原の大祭が始まるころには、練習にも力が入ります。

地域の大切な祭り,文化を次の 世代につなげていくことは,子ども たちにとって大切な学習となってい ます。

小学生の話

おおぜい

お祭り当日は、大勢のお客さんの前で、練習したことを発表できるのでうれしいです。地域の方々に喜んでもらえて、また練習をがんばろうという気持ちになります。

まとめよう・つたえよう

佐原の山車行事が 300年も大切に受け継 がれてきた理由を新聞に まとめてみましょう。



ごれは市川市, 行 徳のお祭りです。秋のほうさくをいわうもので I O O 年以上も前から伝わっています。



中台製作所の方の話

行徳でみこしを作り続けることで市川、行徳をもり上げていければいいと思っています。



ねんちゅうぎょうじ ぶんかざい



妙好寺山門 など

行徳

るか,調べてみましょう。